

変電設備点検

役 務 名 称	変電設備点検	図面 番号	1 / 10
図 面 名 称	表 紙	仕 様 書 番 号	
		管 - 59	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		令和8年6月	

仕 様 書

- 1 件 名
変電設備点検
 - 2 場 所
茨城県土浦市右廻 2 4 1 0 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
陸上自衛隊霞ヶ浦飛行場
 - 3 適用範囲
本仕様書は、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地及び飛行場における変電設備点検について適用する。
 - 4 概 要
高圧電気室 1 8 ヶ所及び屋外キュービクル 3 ヶ所の受変電設備機器の点検
 - 5 一般事項
 - (1) 本役務は、本仕様書の他、建築保全業務共通仕様書（最新版）によるものとする。
 - (2) 本役務の現場代理人は、第 3 種電気主任技術者で資格証明書（写し）を提出すること。
 - (3) 本仕様書に定められた内容に明示なき場合、もしくは疑いを生じた場合は、監督官と協議のうえ内容を確認する。
 - (4) 現場の安全衛生に関する管理は現場代理人が責任者となり、関連法令を遵守し行う。
また、火災等の事故防止に努めるとともに、役務現場及び許可された場所以外への無断立入りを厳禁する。
 - (5) 点検に先立ち、監督官と協議のうえ計画工程表を作成し、監督官に提出する。
 - (6) 役務写真はカラーサービス版程度とし、実施中及びその他監督官が指示するものを工事用アルバム（A 4 縦型）に整理のうえ提出する。
 - (7) 施設に損傷を与えた場合は、延滞なく監督官に報告するとともに、監督官の指示に基づき、請負者の責任において現状に復旧する。
 - (8) 請負者は、監督官の指定した書類を提出すること。
 - (9) 本役務により不具合箇所を発見した場合は、改善に対する資料及び見積書を監督官に提出する。
 - (10) 本役務に必要な工具、試験器具類及び消耗品類は請負者負担とする。
 - 6 特記事項
 - (1) 本役務の点検内容については、図面番号 7 / 1 0 ~ 9 / 1 0 「機器点検項目表（1）～（3）」により実施し報告書を提出すること。
 - (2) 駐屯地全域停電日時は、令和 8 年 1 1 月 2 8 日（土）、1 1 月 2 9 日（日）の各日 8 時から 1 7 時とする。
 - (3) 請負者は、図面番号 1 0 / 1 0 「発電機設置一覧表」により発電機を設置し、令和 8 年 1 1 月 2 8 日（土）、1 1 月 2 9 日（日）の各日 8 時から 1 7 時の間、対象設備へ電力を供給すること。これに伴う、各分電盤へのケーブルの接続・取外し、燃料供給は請負者負担とする。
 - (4) 点検用電源については、請負者により確保するものとする。
 - (5) 点検中に不測の事態が発生した場合、3 0 分以内に復電作業を実施できる体制表を作成し、監督官の許可を得ること。
 - (6) 点検結果に基づき建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う、消耗部品の取替え、注油、塗装その他これらに類する軽微な作業は行うこと。

設備機器一覽表(1)

名 称	数量 小計	高压電気室別数量内訳						備 考
		101号 建物	102号 建物	105号 建物	108号 建物	121号 建物	132号 建物	
閉鎖型配電盤(高压)	30 面	5	5	4	4	6	6	
閉鎖型 配電盤 (低压)	11 回路未満	2	3	2	4	5		
	11 回路以上	2	2	2		2	4	
変圧器 (Tr)	500KVA 以下	4	5	4	4	6	3	油入
	500KVA 超	1					1	油入
断路器(DS) 7.2KV、400A	19 個	2	4	2	2	4	5	
真空遮断器(VCB) 7.2KV、600A	30 個	5	5	5	4	6	5	
高压負荷開閉器(LBS) 7.2KV、200A	28 個	4	5	4	5	6	4	
不足電圧継電器(UVR)	12 個	2	2	2	2	2	2	
過電流継電器(OCR) 静止形	31 個	5	5	5	5	6	5	
地絡方向継電器(DGR)	5 個		2				3	
低圧漏電継電器(ELR)	27 個	4	5	4	4	6	4	
計器用変圧器(PT)	39 個	6	6	6	6	6	9	
計器用変流器(高压)(CT)	60 個	10	10	10	9	12	9	
計器用変流器(低压)(CT)	62 個	10	12	10	8	14	8	
零相変流器(高压)(ZCT)	5 個		2				3	
零相変流器(低压)(ZCT)	27 個	4	5	4	4	6	4	
零相電圧検出器(ZPC)	2 個		2					
電圧計(V)	42 個	7	8	7	6	8	6	
電流計(A)	31 個	5	5	5	5	6	5	
最大需要電流計(MDA)	31 個	5	6	5	4	7	4	
電力計(W)	12 個	2	2	2	2	2	2	
力率計(PF)	4 個	2	2					
積算電力計(WH)	19 個	3	3	3	3	4	3	
接地端子極	18 極	4	4	3	2	3	2	
避雷器(LA)								
双投形電磁接触器(MCDT) 3P600A								
過負荷継電器(THR)								

設 備 機 器 一 覧 表 (2)

名 称		数量 小計	高压電気室別数量内訳						備 考
			134号 建物	135号 建物	141号 建物	142号 建物	144号 建物	153号 建物	
閉鎖型配電盤(高压)		36 面	6	6	5	8	5	6	
閉鎖型 配電盤 (低压)	11 回路未満	17 面			4	7	3	3	
	11 回路以上	10 面	4	4		1		1	
変圧器 (Tr)	500KVA 以下	26 個	3	4	4	8	3	4	油入
	500KVA 超	1 個	1						油入
断路器(DS) 7.2KV、400A		19 個	3	2	2	5	2	5	
真空遮断器(VCB) 7.2KV、600A		33 個	6	6	5	6	5	5	
高压負荷開閉器(LBS) 7.2KV、200A		27 個	4	4	4	8	3	4	
不足電圧継電器(UVR)		12 個	2	2	2	2	2	2	
過電流継電器(OCR) 静止形		33 個	6	6	5	6	5	5	
地絡方向継電器(DGR)		4 個	1			3			
低圧漏電継電器(ELR)		27 個	4	4	4	8	3	4	
計器用変圧器(PT)		37 個	9	6	6	4	6	6	
計器用変流器(高压)(CT)		62 個	11	11	9	12	10	9	
計器用変流器(低压)(CT)		62 個	8	10	9	17	8	10	
零相変流器(高压)(ZCT)		4 個	1			3			
零相変流器(低压)(ZCT)		28 個	4	5	4	8	3	4	
零相電圧検出器(ZPC)		2 個				2			
電圧計(V)		44 個	6	7	7	11	6	7	
電流計(A)		33 個	6	6	5	6	5	5	
最大需要電流計(MDA)		32 個	4	5	5	9	4	5	
電力計(W)		12 個	2	2	2	2	2	2	
力率計(PF)		8 個		2	2	2		2	
積算電力計(WH)		21 個	4	4	3	4	3	3	
接地端子極		17 極	2	3	3	3	3	3	
避雷器(LA)									
双投形電磁接触器(MCDT) 3P600A									
過負荷継電器(THR)									

設備機器一覽表(3)

名 称		数量 小計	高压電気室別数量内訳						備 考
			160号 建物	174号 建物	181号 建物	207号 建物	301号 建物	329号 建物	
閉鎖型配電盤(高压)		41 面	6	9	8	8	5	5	
閉鎖型 配電盤 (低压)	11 回路未満	28 面	1	8	2	4	7	6	
	11 回路以上	3 面	2		1				
変圧器 (Tr)	500KVA 以下	32 個	3	8	3	4	7	7	油入
	500KVA 超								
断路器(DS) 7.2KV、400A		20 個	2	4	2	6	4	2	
真空遮断器(VCB) 7.2KV、600A		36 個	5	11	5	5	5	5	
高压負荷開閉器(LBS) 7.2KV、200A		33 個	3	8	3	4	7	8	
不足電圧継電器(UVR)		15 個	2	3	2	2	4	2	
過電流継電器(OCR) 静止形		34 個	5	9	5	5	5	5	
地絡方向継電器(DGR)		4 個		2			1	1	
低圧漏電継電器(ELR)		34 個	3	8	3	4	7	9	
計器用変圧器(PT)		45 個	6	11	9	6	7	6	
計器用変流器(高压)(CT)		66 個	9	18	10	9	10	10	
計器用変流器(低压)(CT)		74 個	8	16	8	10	16	16	
零相変流器(高压)(ZCT)		5 個		2			2	1	
零相変流器(低压)(ZCT)		34 個	3	8	3	4	7	9	
零相電圧検出器(ZPC)		1 個					1		
電圧計(V)		51 個	6	12	6	7	10	10	
電流計(A)		32 個	5	7	5	5	5	5	
最大需要電流計(MDA)		40 個	4	11	4	5	8	8	
電力計(W)		13 個	2	3	2	2	2	2	
力率計(PF)		7 個	2	3	2				
積算電力計(WH)		25 個	3	4	5	5	3	5	
接地端子極		19 極	3	4	3	3	3	3	
避雷器(LA)									
双投形電磁接触器(MCDT) 3P600A									
過負荷継電器(THR)									

設備機器一覧表(4)

名 称		数 量		屋外キュービクル別数量内訳			備 考
		合計	小計	330号 建物	331号 建物	370号 建物	
閉鎖型配電盤(高压)		110 面	3 面	1	1	1	
閉鎖型 配電盤 (低压)	11 回路未満	70 面	9 面	2	5	2	
	11 回路以上	25 面					
変圧器 (Tr)	500KVA 以下	93 個	9 個	2	5	2	油入
	500KVA 超	2 個					油入
断路器(DS)7.2KV、400A		65 個	7 個	2	2	3	
真空遮断器(VCB)7.2KV、600A		102 個	3 個	1	1	1	
高压負荷開閉器(LBS)7.2KV、200A		94 個	6 個	1	5		
不足電圧継電器(UVR)		41 個	2 個	1		1	
過電流継電器(OCR)静止形		101 個	3 個	1	1	1	
地絡方向継電器(DGR)		13 個					
低圧漏電継電器(ELR)		89 個	1 個	1			
計器用変圧器(PT)		127 個	6 個	2	2	2	
計器用変流器(高压)(CT)		194 個	6 個	2	2	2	
計器用変流器(低压)(CT)		216 個	18 個	4	10	4	
零相変流器(高压)(ZCT)		14 個					
零相変流器(低压)(ZCT)		89 個					
零相電圧検出器(ZPC)		5 個					
電圧計(V)		150 個	13 個	3	6	4	
電流計(A)		102 個	6 個	1	1	4	
最大需要電流計(MDA)		117 個	14 個	4	10		
電力計(W)		40 個	3 個	1	1	1	
力率計(PF)		19 個					
積算電力計(WH)		70 個	5 個		5		
接地端子極		66 極	12 極	4	4	4	
避雷器(LA)		6 台	6 台	3	3		
双投形電磁接触器(MCDT) 3P600A		1 個	1 個			1	
過負荷継電器(THR)		3 個	3 個			3	

機 器 点 検 項 目 表 (1)

1 点検項目表総括表

点 検 機 器 等	点 検 項 目 表 名	備 考
閉鎖型配電盤	閉鎖型配電盤点検項目による	
真空遮断器	真空遮断器点検項目による	
断路器・負荷開閉器	断路器・負荷開閉器点検項目による	
過電流継電器	保護継電器点検項目による	
不足電圧継電器		
地絡方向継電器		
低圧漏電継電器		
変圧器	変圧器点検項目による	油入
接地端子箱	接地端子箱点検項目による	
避雷器	避雷器点検項目表	
計器用変流器	ゆるみ、亀裂等の異常の有無	
計器用変圧器	接地線接続部の異常の有無	
	絶縁抵抗・接地抵抗測定	

2 閉鎖型配電盤点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
盤構成部	汚損部の手入れ	
	損傷部の有無	
	締付け緩みの有無	
	発錆の有無	
	異物混入の有無	
主回路部 (母線及び絶縁部含む)	汚損部の手入れ	
	損傷部の有無	
	締付け緩みの有無	
	発錆の有無	
	母線接続部の絶縁処理確認	
	絶縁物(支持板等)の点検	
制御回路部 (取付部含む)	汚損部の手入れ	
	損傷部の有無	
	締付け緩みの有無	
	発錆の有無	
	異物混入の有無	
	電線の端末処理確認	
機構部及び接触部	汚損部の手入れ	
	損傷部の有無	
	締付け緩みの有無	
	発錆の有無	
	異物混入の有無	
	機構部動作及び接触部確認	
	D S 操作機構部作動及び接触状態確認	
	V T、C T 緩み・亀裂・接触部の異常の有無	
	扉ストッパー装置作動確認	
	1 次・2 次端子の接触部確認	
	復電後の確認	

機 器 点 検 項 目 表 (2)

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
測定	絶縁抵抗 (主回路ー大地)	
	〃 (制御回路ー大地)	
	〃 (低圧幹線ー大地)	
	高圧ケーブル	5000V メガを使用
	接地抵抗測定	

3 真空遮断器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
外観	油漏れ・汚損・振動・異常音の有無	
	湿度上昇等の有無	
	各部の損傷・腐食・発錆・変形の有無	
	締め付け部の緩み	
	接地線接続部の異常の有無	
操作装置 (操作機構含む)	バネの発錆、変形、損傷の有無	
	注油	
	各締め付け部の異常の有無	
	各摺動部の摩耗等異常の有無	
	異物混入、発錆、塵埃の有無	
	ダンパーからの油漏れの有無	
	スナップリング、割りピンの脱落、変形の有無	
低圧制御回路	配線	断線の有無、締め付け状態
	電圧引外し装置	可動部の過度の摩耗の有無 コイルの変色等異常の有無
	補助開閉器	リンクのがた、接触状態
端子部		締め付け状態の確認
		導電部の変色の有無
真空 スイッチ管	真空容器	表面の湿度、塵埃の有無
動作回数計		点検前・後の作動確認
絶縁部及びモールドフレーム部		表面の水滴、湿気、塵埃の付着・変色、破損の有無
測定		絶縁抵抗測定

4 断路器・負荷開閉器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
外観	損傷部の有無	
	過熱の有無	
	発錆・腐食の有無	
操作機構	投入・遮断機構動作確認	
ブッシング	汚損部の手入れ	
	取り付けボルトの緩み	
	碍子の傷の有無	
	ターミナルの緩み	
接触部	接触子の荒れ	
	接触子の投入状態	
	ナット、ビスの緩み	
	絶縁ロッドの状態	
	焼損の有無	
測定等	接地線の取り付け状態	
	絶縁抵抗測定	
	接地抵抗測定	

機 器 点 検 項 目 表 (3)

5 保護継電器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
外観	各部の汚損、損傷、腐食、発錆、 変形等の異常の有無	
	最小動作電流試験	
過電流継電器	動作時間特性試験	整定ダイヤル値 300%, 500%, 1000%
	最大動作電圧試験	
不足電圧継電器	動作時間特性試験	整定 70%, 50%, 0%
	動作時間特性試験	
地絡方向継電器	位相特性試験	
	動作値試験	
漏電継電器	動作値試験	
	復帰値試験	

6 変圧器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
外観	油漏れ、汚損、振動、異常音、温度上昇等異常の有無	
	各部の損傷、腐食、発錆、変形の有無	
	締付け部のゆるみ	
	接地線接続部の異常の有無	
測定、試験	絶縁抵抗測定	
	接地抵抗測定	
	絶縁耐力試験	
	油量、酸価度測定	

7 キュービクル点検項目表

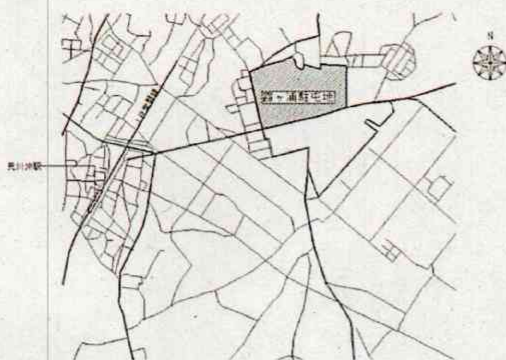
点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
本体	清掃、ワックスがけ 2 1 箇所	

8 接地端子箱点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
外観全般	汚損、発錆等の有無	
接地線	接地抵抗測定	

9 避雷器点検項目表

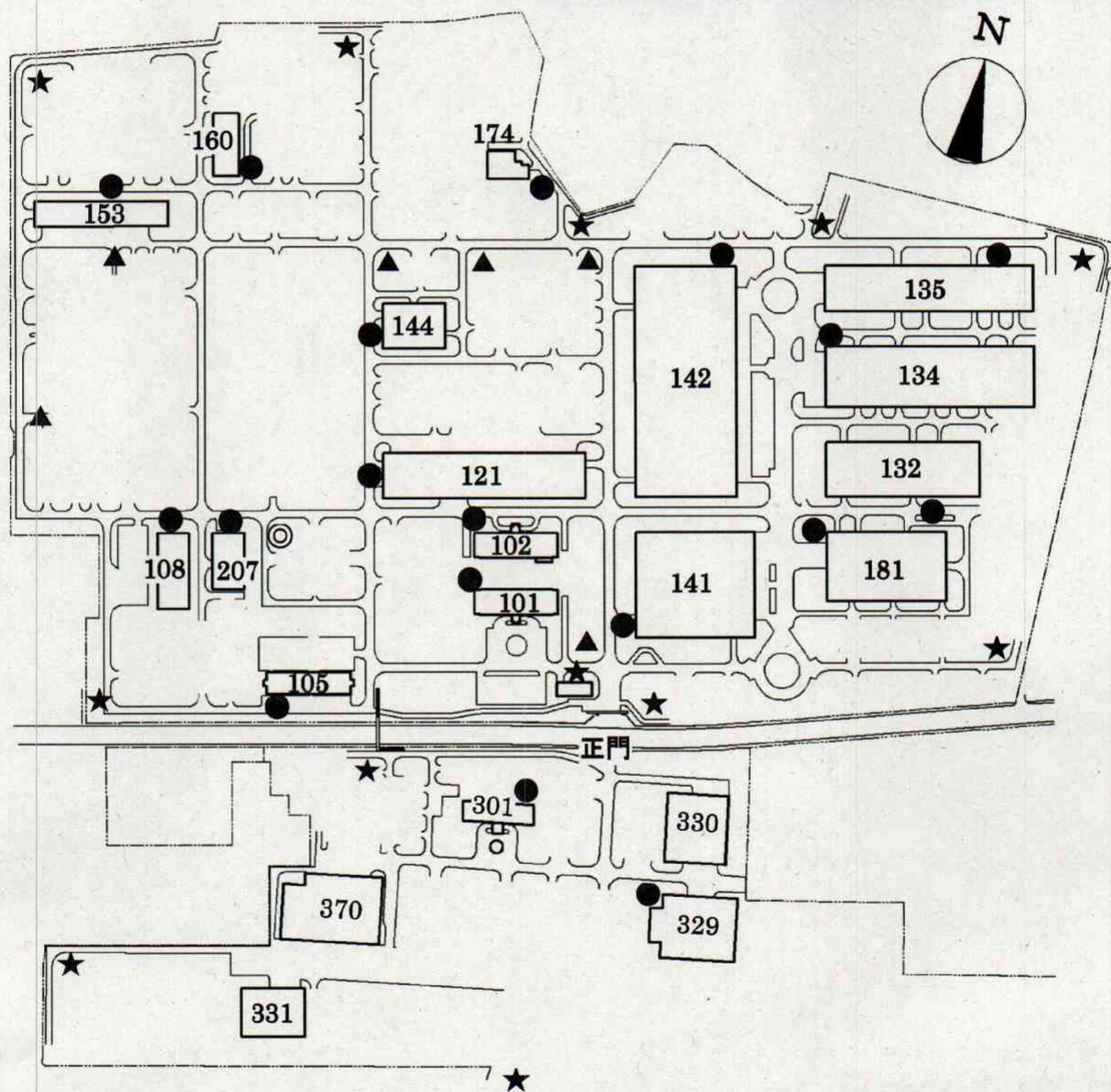
点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
外観全般	汚損、損傷、亀裂、発錆の有無	
	支持・固定の緩みの有無	
	脱落等の有無	
	端子・配線の緩みの有無	
	接地線の取付状態	
測定	接地抵抗測定	
	絶縁抵抗測定	



案内図 S=1/x

発電機設置一覧

記号	対象設備等	容量	数量	備考
●	各建物電気室	2KVA	18 台	1φ2W、100V
◎	厨房冷蔵庫	37KVA	1 台	3φ3W、200V
▲	污水ポンプ槽	8KVA	6 台	3φ3W、200V
★	警備用	2KVA	12 台	1φ2W、100V



配置図 S=1/X

調達要求番号： 6PX01AD0089

陸上自衛隊仕様書			
物品番号		仕様書番号	
消防用設備点検		管－60	
		作成	令和8年6月
		変更	
		作成部隊等名	霞ヶ浦駐屯地業務隊

- 適用範囲
本仕様書は、消防用設備点検について適用する。
- 実施場所
茨城県土浦市右廻2410 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地
- その他
役務内容は、図面による。

図面番号	図面名称
1／11	仕様書
2／11	建物別消防用設備一覧表
3／11	屋内消火栓設備
4／11	屋外消火栓設備、スプリンクラー設備、泡消火設備、簡易自動消火設備
5／11	二酸化炭素消火設備、ハロゲン化物消火設備、自動火災報知設備（1）
6／11	自動火災報知設備（2）
7／11	自動火災報知設備（3）非常警報設備、誘導灯（1）
8／11	誘導灯（2）
9／11	防火・排煙設備
10／11	連結散水設備、連結送水管設備
11／11	案内図、配置図

仕 様 書

1 件 名

消防用設備点検

2 場 所

茨城県土浦市右舂 2 4 1 0 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地

3 適用範囲

本仕様書は、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地における消防用設備点検について適用する。

4 概 要

消防法施行規則第 3 1 条の 6 に基づく消防用設備の機器点検及び総合点検 5 9 棟

5 一般事項

- (1) 本役務は、本仕様書による他、建築保全業務共通仕様書（最新版）及び関係法令に従い実施すること。
- (2) 本役務は、点検対象設備に対する消防設備士又は消防設備点検資格者が行い、免状等の写しを監督官へ提出するものとする。
- (3) 本仕様書に定められた内容に明示なき場合、もしくは疑いを生じた場合は、監督官と協議のうえ内容を確認する。
- (4) 現場の安全衛生に関する管理は現場代理人が責任者となり、関連法令を遵守し行う。また、火災等の事故防止に努めるとともに、役務現場及び許可された場所以外への無断立入りを厳禁する。
- (5) 請負者は契約後速やかに監督官と協議のうえ計画工程表を作成し、監督官に提出する。
- (6) 役務写真はカラーサービス版程度とし、実施中及びその他監督官が指示するものを工事用アルバム（A 4 縦型）に整理のうえ提出する。
- (7) 業務時間は原則、平日 0 8 3 0 から 1 7 0 0 までとするが、時間外に作業する必要がある場合は事前に監督官の承諾を受けること。

- (8) 施設に損傷を与えた場合は、延滞なく監督官に報告するとともに、監督官の指示に基づき、請負者の責任において現状に復旧する。
- (9) 本役務に必要な工具、試験器具類、消耗品類は請負者負担とする。
- (10) 請負者は、監督官の指定期日までに次の書類を提出すること。
- (11) 各点検終了後における消防用設備等点検結果報告書（点検結果総括表及び点検者一覧表）を 2 部（正×1、副×1）作成し、監督官に提出する。
- (12) 請負者は監督官が示す役務書類を作成し、契約期間内に監督官まで提出する。
- (13) 本役務により不具合箇所を発見した場合は、改善に対する資料及び見積書を速やかに監督官に提出する。
- (14) 役務の実施時期については、機器点検を令和 8 年 9 月、総合点検を令和 9 年 2 月を基準とする。

6 特記事項

- (1) 各消防設備の場所・種類・数量については、図面番号 2 / 1 1 ~ 1 1 / 1 1 による。
- (2) 泡消火設備の放水試験は、水を放水して機能確認を行う。
- (3) 放水試験の場所は、監督官の指定した場所とする。
- (4) 1 2 6 号、3 2 1 号、3 2 2 号、3 2 9 号、3 3 0 号、3 3 2 号、3 3 1 号建物の点検は、高所作業車（1 2 m）を必要とする。
- (5) 2 0 5 号建物 1 階の厨房への立入りは、菌検索を行い、その結果証明書を提出するとともに、異状の無いことを確認できた作業員のみとする。
- (6) 契約期間中に不具合が発生した場合は速やかに対応し、修理に関する資料及び見積書を提出する。

件 名	消防用設備点検	図面番号	1 / 1 1
図 面	仕 様 書	縮 尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和 8 年 6 月	

建物別消防用設備一覧表

No.	建物番号	屋内消火栓設備	屋外消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	簡易消火設備	自動火災報知設備	誘導灯	防火戸・排煙設備	連結散水設備	連結送水管	所在地
1	101	●					●		●	●	●		●	土浦市
2	102	●					●		●	●	●		●	〃
3	104	●							●	●	●			〃
4	105	●							●	●	●		●	〃
5	106	●							●	●	●		●	〃
6	107	●							●	●				〃
7	108	●							●	●	●			〃
8	121	●							●	●	●			〃
9	122	●							●	●	●			〃
10	123								●		●			〃
11	125								●					〃
12	126	●			●				●					〃
13	127	●							●	●	●			〃
14	128	●							●	●	●			〃
15	130	●							●	●	●			〃
16	132		●			●			●	●	●			阿見町
17	133		●						●	●				〃
18	134		●						●	●	●			〃
19	135	●	●						●	●	●	●		土浦市
20	141	●	●	●					●	●	●			〃
21	142	●	●	●					●	●	●			〃
22	143	●	●	●					●	●	●			〃
23	144	●							●					〃
24	145	●	●	●					●	●	●			〃
25	153	●							●					〃
26	155	●							●					〃
27	158								●					〃
28	160	●		●					●	●	●			〃
29	161	●							●	●	●			〃
30	165	●							●	●	●			土浦市

●は、建物に設置されている消防用設備

No.	建物番号	屋内消火栓設備	屋外消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	簡易消火設備	自動火災報知設備	誘導灯	防火戸・排煙設備	連結散水設備	連結送水管	所在地
31	168	●							●	●	●			土浦市
32	174	●							●					〃
33	181		●						●	●	●			阿見町
34	201	駐屯地建物副受信機												
35	205	●		●				●	●	●	●			土浦市
36	206	非常警報設備												〃
37	207	●		●			●		●	●	●			〃
38	212								●					〃
39	217	●							●	●				〃
40	224								●					〃
41	226	●							●	●	●			〃
42	227								●					〃
43	301	●							●	●	●			〃
44	302	●							●	●	●			〃
45	303								●	●				阿見町
46	304						●		●	●	●			〃
47	321								●					土浦市
48	322								●					〃
49	324					●			●					〃
50	325	●							●	●				〃
51	327								●	●				〃
52	328				●				●					〃
53	329	●			●				●	●	●			阿見町
54	330	●			●				●	●	●			〃
55	331	●			●				●	●				土浦市
56	332	●			●				●		●			阿見町
57	333	●			●				●					土浦市
58	361									●	●			阿見町
59	370				●				●	●	●			土浦市

件名	消防用設備点検	図面番号	2 / 1 1
図面	建物別消防用設備一覧表	縮尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和8年6月	

屋内消火栓設備

No.	建物番号	設置年月	加圧送水装置	ポンプ操作盤	消火栓	起動スイッチ	表示灯	水源	充水タナ	放水試験	備 考
1	101	H5.1			12	12	12		1		ポンプは、102 号建物
2	102	H5.1	1	1	11	11	11	1	1		
3	104	H5.3			4	4	4				ポンプは、102 号建物
4	105	H5.12			16	16	16		1	1	〃
5	106	H8.3			16	16	16		1		〃
6	107	H4.2			1	1	1				〃
7	108	H4.2			4	4	4				〃
8	121	H7.11			6	6	6				〃
9	122	H7.4			4	4	4				ポンプは、174 号建物
10	126	H3.10			2	2	2				〃
11	127	H6.3			2	2	2				〃
12	128	H6.3			2	2	2				〃
13	130	H7.4			4	4	4				〃
14	135	H8.1	1	1	2	2	2	1	1	1	
15	141	H4.9			9	9	9				ポンプは、102 号建物
16	142	H5.10			2	2	2				〃
17	143	H7.11			6	6	6				ポンプは、174 号建物
18	144	H7.4			4	4	4				〃
19	145	H8.11			5	5	5				〃
20	153	H5.3			14	14	14				〃
21	155	H3.11			4	4	4				〃
22	160	H6.3			2	2	2				〃
23	161	H5.3			6	6	6				〃
24	165	H6.3			4	4	4		1	1	〃
25	168	H7.4			6	6	6				〃
26	174	H4.3	1	1	1	1	1	1			
27	205	H4.3			9	9	9		1		ポンプは、102 号建物
28	207	H4.3			2	2	2				〃
29	217	H5.3			2	2	2				〃
30	226	H19.11	1	1	8	8	8	1	1	1	
31	301	H5.12	1	1	7	7	7	1	1		ポンプは、364 号建物
32	302	H5.12			8	8	8		1	1	〃
33	325	H4.3			6	6	6				〃
34	329	H4.3			2	2	2				〃
35	330	H5.9			4	4	4				〃
36	331	H10.12	1	1	1	1	1	1	1	1	泡消火設備と共用
37	332	H12.11			4	4	4				ポンプは、364 号建物
38	333	H19.8	1	1	4	4	4	1	1	1	泡消火設備と共用
計			7	7	206	206	206	7	12	7	

件 名	消防用設備点検	図面番号	3 / 1 1
図 面	屋内消火栓設備	縮 尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和 8 年 6 月	

屋外消火栓設備

No.	建物番号	設置年月	加圧送水装置	ポンプ操作盤	消火栓・ホース格納箱	起動スイッチ	表示灯	呼水装置	水源	放水試験	備考
1	132	H28.7			5	5	5				
2	133	H28.7			1	1	1				
3	134	H28.7			7	7	7				
4	135	H28.7			6	6	6				
5	141	H27.3			6	6	6				
6	142	H28.7			10	10	10				
7	143	H28.7			5	5	5				
8	145	H28.7			4	4	4			1	
9	181	H27.3	1	1	5	5	5	1	1		水源は、屋外設置
10	304				1	1	1				水源は、364号建物
合 計			1	1	50	50	50	1	1	1	

スプリンクラー設備

No.	建物番号	設置年月	ヘッド	流水検知装置	送水口	加圧送水装置	起動装置	ポンプ操作盤	呼水装置	圧力スイッチ	水源	放水試験	備考
1	141	H4.9	1,255	3	1								水源は、207号建物
2	142	H5.10	2,454	2	1								〃
3	143	H7.11	799	2	1								〃
4	145	H7.11	1,324	4	1							1	〃
5	160	H6.3	341	2	1								〃
6	205	H4.3	71	1	1								〃
7	207	H4.3				1	1	1	1	1	1		
合 計			6,244	14	6	1	1	1	1	1	1	1	

泡消火設備

No.	建物番号	設置年月	加圧送水装置	原液タンク操作部	自動起動装置	ポンプ操作盤	表示盤	泡ヘッド	流水検知器装置	一斉開放弁	手動開放弁	泡消火栓タンク内蔵型	混合装置	呼水装置	水源	煙感知器	放水試験	サンプリング検査	薬剤区分	備考
1	126	H3.10	1	1	1	1	1	192	1	24	24		1	1	1	24	1	1	水成膜	水源は、209号建物
2	328	S60.1	1			1	1					5	5	1	1		1	1	蛋白	水源は、362号建物
3	329	H4.3	1			1	1					3	3	1	1		1		水成膜	水源は、364号建物
4	330	H5.9										3	3						水成膜	〃
5	331	H10.12	加圧送水装置は、建物内屋内消火栓と共用										2	2	1	1		1	水成膜	放水試験は、屋内消火栓で実施
6	332	H12.11										1	1					1	蛋白	水源は、364号建物
7	333	H19.8	加圧送水装置は、建物内屋内消火栓と共用										2	2	1	1		1	水成膜	放水試験は、屋内消火栓で実施
8	370	H26.3	1			1	1					4	4	1	1		1		水成膜	
合 計			4	1	1	4	4	192	1	24	24	20	21	6	6	24	6	5		

簡易自動消火設備

建物番号	設置年月	消火器			ノズル	センサー		コントローラー	リモートスイッチ	増設移報リレー	警報装置	ガス遮断操作器	備考
		強化液 1.5%	強化液 3.0%	粉末 6.5%		レンジ用	ダクト用						
205	H4.3	1	17	17	80	31	6	9	6	1	1	1	

件 名	消防用設備点検	図面番号	4 / 1 1
図 面	屋外消火栓設備、スプリンクラー設備、泡消火設備、簡易自動消火設備	縮 尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和8年6月	

二酸化炭素消火設備

No.	建物 番号	設置年月	容器	容器開放装 置(電磁式)	容器開放装置 (ガス圧式)	起動用 小容器	起動 操作箱	音響 装置	制御 盤	音声 盤	表示 盤	圧力 スイッチ	放出 表示箱	選 択 弁 (ガス圧式)	ヘッ ド	作動 試験	放出 試験	備 考
1	132	H9.3	6	5	6	5	5	8	1	1	1	5	5	5	40	1	1	
2	324	H4.3	19	6	19	6	6	6	1	1	1	6	6	6	58	1	1	
合 計			25	11	25	11	11	11	2	2	2	11	11	11	98	2	2	

ハロゲン化物消火設備

No.	建物 番号	設置年月	容器	容器開放装置 (ガス圧式)	起動用 小容器	起動 操作箱	音響 装置	制御 盤	音声 盤	圧力 スイッチ	不 還 弁	放出 表示箱	選 択 弁	ヘッ ド	作動 試験	放出 試験	備 考
1	101	H5.1	3	2	2	2	2	1	1	2	5	7	2	3	1	1	
2	102	H5.1	4	12	4	4	5	1	1	4	9	7	4	6	1	1	
3	207	H4.3	12	12	2	2	2	1	1	2	5	9	2	10	1	1	
4	304	H4.3	1	1	4	4	4	1	1	4	7	10	4	5	1	1	
合 計			20	27	12	12	13	4	4	12	26	33	12	24	4	4	

自動火災報知設備 (1)

No.	建物 番号	設置年月	受 信 機		感 知 器							地区音響装置	発信機	消火栓連動起動装置	電源・蓄電池	配線点検	備 考
			外形	回線	差動式		定温式 スポット型			煙 式							
					空 気 管 式	ス ポ ッ ト 型	防 水	普 通 ・ 耐 酸 形	防 爆 型	光電式 スポット型	光電式 分離						
1	101	H5.1	P型1級	25/40		231	6	4		29		12	12	1	1	1	煙感知器(2・3種)6個含む
2	102	H5.1	P型1級	32/40		253	7	3		38		11	11	1	1	1	煙感知器(2・3種)5個含む
3	104	H5.3	P型1級	13/15		52	2			27		6	6	1	1	1	最大点検高さ7.5m
4	105	H5.12	P型1級	26/50		234	28			46		17	16	1	1	1	
5	106	H8.3	P型1級	26/50		234	51			52		16	16	1	1	1	
6	107	H4.2	P型1級	2/5		22	3			2		1	1	1	1	1	
7	108	H4.2	P型1級	10/10		24				11	3	5	5	1	1	1	煙感知器(2・3種)1個含む
8	121	H7.11	P型1級	43/100		256	7			83		19	19	1	1	1	最大点検高さ13m
9	122	H7.4	P型1級	13/20	5	73	3		18	23		4	4	1	1	1	最大点検高さ7.3m
10	123	H7.4	P型1級	7/15	6	18	3			16		2	2		1	1	
11	125	H3.1	P型1級	7/10		63	1	2		2		4	4		1	1	
12	126	H3.1	P型1級	30/30		55	1	1		28		5	4	1	1	1	最大点検高さ11.7m
13	127	H6.3	P型1級	5/5	6	24	8		1	14		2	2	1	1	1	
14	128	H6.3	P型1級	5/5		10	1			17		2	2	1	1	1	
小 計					17	1,549	100	10	19	388	3	106	104	12	14	14	

件 名	消防用設備点検	図面番号	5 / 1 1
図 面	二酸化炭素消火設備、ハロゲン化物消火設備、自動火災報知設備 (1)	縮 尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和8年6月	

自動火災報知設備（２）

No.	建物 番号	設置年月	受 信 機		感 知 器							地区 音響装置	発 信機	消火栓連動起動装置	電源・蓄電池	配線点検	備 考	
			外形	回線	差動式		定温式 スポット型			煙式								
					分布型空気管式	スポット型	普通・防水	耐酸型	防爆型	光電式 スポット型	光電式 分離							
15	130	H7.4	P型1級	13/15		62	2		3	27		4	4	1	1	1	最大点検高さ 11.9m	
16	132	H9.3	P型1級	66/70		6	15		49	421		16	14		1	1		
17	133	H8.6	P型1級	3/5			1			30		2	2		1	1		
18	134	H9.3	P型1級	67/70		15	3	3	49	434		21	19		1	1	最大点検高さ 11.7m	
19	135	H8.1	P型1級	64/70		403	19			304		21	15	1	1	1	最大点検高さ 13.3m	
20	141	H4.9	P型1級	47/60		662	2			133		21	19	1	1	1	最大点検高さ 7.5m	
21	142	H5.1	P型1級	84/90		482	1			405		35	32	1	1	1	最大点検高さ 10m	
22	143	H7.11	P型1級	38/60		373	5			100		16	14	1	1	1	最大点検高さ 5.7m	
23	144	H7.4	P型1級	5/10		85	3			5		4	4	1	1	1	最大点検高さ 7.9m	
24	145	H7.11	P型1級	31/50		274	1			91		15	13	1	1	1	最大点検高さ 7.1m	
25	153	H5.3	P型1級	19/20		245				8		14	14	1	1	1	最大点検高さ 9.6m	
26	155	H3.11	P型1級	9/10		59	1			16		4	4	1	1	1	最大点検高さ 9m	
27	158	H3.11	P型1級	8/10		65	1			6		4	4		1	1	最大点検高さ 8.6m	
28	160	H6.3	P型1級	9/15		101	1			10		5	2	1	1	1	最大点検高さ 6.4m	
29	161	H5.3	P型1級	13/15	4	94	2	31	4	16		7	6	1	1	1	最大点検高さ 5m	
30	165	H6.3	P型1級	8/10	7	47	7			20		5	4	1	1	1		
31	168	H7.4	P型1級	16/20		2	2			102		6	6	1	1	1	最大点検高さ 12.5m	
32	174	H4.3	P型1級	2/10						13		1	1	1	1	1	最大点検高さ 7m	
33	181	H9.3	P型1級	34/35			5			249		17	14		1	1	最大点検高さ 5.5m	
34	201	H3.9	副受信機	52/120	各回路の移報点検											1	1	
35	205	H4.3	P型1級	12/30		81	22			10		9	9	1	1	1		
36	207	H4.3	P型1級	7/25			31		3	29		3	3	1	1	1	最大点検高さ 8m	
37	212	H4.3	P型1級	1/5						6					1	1		
38	217	H5.3	P型1級	3/5		13	1			13		2	2	1	1	1		
39	224	H18.2	P型1級	5/5	5	17	3			7		3	3		1	1		
40	226	H19.11	P型1級	16/20	35	17	1			7		8	8	1	1	1	最大点検高さ 8.7m	
41	227	H30.2	P型2級	2/3		30	9					4	2		1	1	最大点検高さ 5.6m	
42	301	H5.12	P型1級	27/40		79	3			28		7	7	1	1	1		
43	302	H5.12	P型1級	10/10	3	71			3	12		8	8	1	1	1		
44	303	S60.3	P型1級	3/5		18	2	2	1	2		4	2		1	1		
45	304	H4.3	P型1級	15/30		29	3		1	19		8	8		1	1		
46	321	S60.3	P型1級	4/5		15	2			15		4	3		1	1	最大点検高さ 9.2m	
小 計					54	3,345	148	36	113	2,538		278	246	20	32	32		

件 名 消防用設備点検

図 面 自動火災報知設備（２）

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科

図面番号 6 / 1 1

縮 尺 -

令和 8 年 6 月

自動火災報知設備（3）

No.	建物 番号	設置 年月	受 信 機		感 知 器							地区音響装置	発信機	消火栓連動起動装置	電源・蓄電池	配線点検	備 考	
			外形	回線	差動式		定温式			煙 式								
					分布型 空気管式	スポット型	スポット型			光電式 スポット型	光電式 分離							
							普通・防 水	耐酸 型	防爆 型	非蓄積	非蓄積							
47	322	S 63. 2	P 型 1 級	6/10		18	2				17		5	5		1	1	最大点検高さ 12m
48	324	H 6. 3	P 型 1 級	9/20		14				18			11	9		1	1	
49	325	H 4. 3	P 型 1 級	17/20	3	155	2	2		30	7		7	7	1	1	1	最大点検高さ 6. 4m
50	327	S 60. 3	P 型 1 級	5/5		52	2				4		4	2		1	1	
51	328	S 60. 4	P 型 1 級	16/25	68								13	9		1	1	
52	329	H 4. 3	P 型 1 級	9/15		20	2				52		9	5	1	1	1	最大点検高さ 18. 5m
53	330	H 5. 9	P 型 1 級	10/15		27					39		8	7	1	1	1	最大点検高さ 15. 1m
54	331	H 10. 12	P 型 1 級	7/15		17	6	1			3	4	6	4	1	1	1	最大点検高さ 15. 9m
55	332	H 12. 11	P 型 1 級	8/10		24	3	1			31		4	4	1	1	1	最大点検高さ 14. 3m
56	333	H 19. 8	P 型 1 級	12/15	20	77	18	4	1		10		8	6	1	1	1	最大点検高さ 5. 4m
57	370	H 26. 3	P 型 1 級	15/60		58	6				5	9	10	6		1	1	最大点検高さ 13m
小 計					91	462	41	8	49		168	13	85	64	6	11	11	
合 計					162	5,356	289	54	181		3,094	16	469	414	38	57	57	

非常警報設備

建物番号	設置年月	操作部	起動装置	音響装置	表示灯	備 考
206	H 4. 3	1	8	4	7	

誘 導 灯（1）

No.	建物 番号	設置年月	誘導灯										誘導灯 階段 通路	備 考
			避難口誘導灯			室内通路誘導灯			廊下通路誘導灯					
			大型	中型	小型	大型	中型	小型	大型	中型	小型			
1	101	H5. 1										57		
2	102	H5. 1			2							42		
3	104	H5. 3	1		9							3		
4	105	H5. 12										55		
5	106	H8. 3										55		
6	107	H4. 2		2			4							
7	108	H4. 2		12						4		1		
8	121	H7. 11										59		
9	122	H7. 4			2					2		7		
小計			1	14	13		4			6		279		

件 名	消防用設備点検	図面番号	7 / 1 1
図 面	自動火災報知設備（3）、非常警報設備、誘導灯（1）	縮 尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和 8 年 6 月	

誘導灯(2)

No.	建物 番号	設置年月	誘導灯										階段 通路 誘導 灯	備 考
			避難口誘導灯			室内通路誘導灯			廊下通路誘導灯					
			大型	中型	小型	大型	中型	小型	大型	中型	小型			
10	127	H6.3		5						5		2		
11	128	H6.3		9						4				
12	130	H7.4		5						3				
13	132	H9.3			26			20		1		28		
14	133	H8.6			15						1			
15	134	H9.3		28	15			36						
16	135	H8.1			44			24				77		
17	141	H4.9			9							18		
18	142	H5.10		73						32	3	48		
19	143	H7.11										14		
20	145	H7.11										10		
21	160	H6.3		2						2				
22	161	H5.3		4						4	1	4		
23	165	H6.3		10						3				
24	168	H7.4		10						1				
25	181	H9.3			10						10	15		
26	205	H4.3	5	7	10		12	2		5				
27	207	H4.3			5						1	3		
28	217	H5.3		2								3		
29	226	H19.11		6	8		3							
30	301	H5.12			3							5		
31	302	H5.12										10		
32	303	S62.3										2		
33	304	H4.3										18		
34	325	H4.3										6		
35	327	S60.3										1		
36	329	H4.3										4		
37	330	H5.9										2		
38	331	H10.12										2		
39	361	H4.3										2		
40	370	H26.3	2		2						1			
小計			7	161	147		15	82		60	17	274		
合計			8	175	160		19	82		66	17	553		

件 名 消防用設備点検

図 面 誘導灯(2)

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科

図面番号 8/11

縮 尺 ー

令和8年6月

防火・排煙設備

No.	建物 番号	設置年月	連動 制御盤	感知器		防火扉	シャッ ター	防火 ダンパー	可動式 垂れ壁	排煙口	排煙機	配線 点検	備 考
				定温式 スポット	煙式								
1	101	H5.1	1		6	6						1	感知器は、2・3種 6個
2	102	H5.1	1		5	5						1	感知器は、2・3種 5個
3	104	H5.3	1		1		1					1	
4	105	H5.12	1		28				14			1	
5	106	H8.3	1		28				14			1	
6	108	H4.2	1		3	1	1					1	感知器は、2・3種 1個
7	121	H7.11	1		27	14	6					1	
8	122	H7.4	1		2			2				1	
9	123	H7.4	1					2				1	
10	127	H6.3	1				2	2				1	
11	128	H6.3	1					2		2	1	1	
12	130	H7.4	1					4				1	
13	132	H9.3	1							22	11	1	
14	134	H9.3	1							28	14	1	
15	135	H8.1	1		29	8	13	5		24	9	1	
16	141	H4.9	1		1	1						1	
17	142	H5.10	1		8	8						1	
18	143	H7.11	1		4		2					1	
19	145	H7.11	1		10		5					1	
20	160	H6.3	1		2		1					1	
21	161	H5.3	1					2				1	
22	165	H6.3	1		1	1		2				1	
23	168	H7.4	1		1		1	8		3	1	1	
24	181	H9.3	1		2	1						1	
25	205	H4.3	1	5	3		10					1	
26	207	H4.3	1		2		1					1	常閉
27	226	H19.11	1		10		7					1	
28	301	H5.12	1		3		3					1	
29	302	H5.12	1		4	8						1	
30	304	H4.3	1		5	7		5				1	
31	329	H4.3	1		2		1					1	常閉
32	330	H5.9	1		6	1	4					1	常閉2箇所
33	332	H19.8	1		2		1					1	常閉
34	361	H4.3	1		2		1					1	
35	370	H26.3	1	2	6	1	4					1	
合計			35	7	203	62	64	34	28	77	36	35	

件 名	消防用設備点検	図面番号	9 / 1 1
図 面	防火・排煙設備	縮 尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和8年6月	

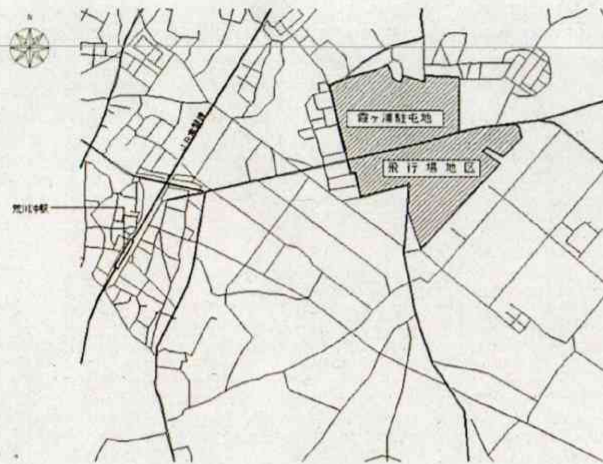
連結散水設備

建物番号	設置年月	送水口	一斉開放弁	ヘッド	備考
135	H8. 1	14	7	51	

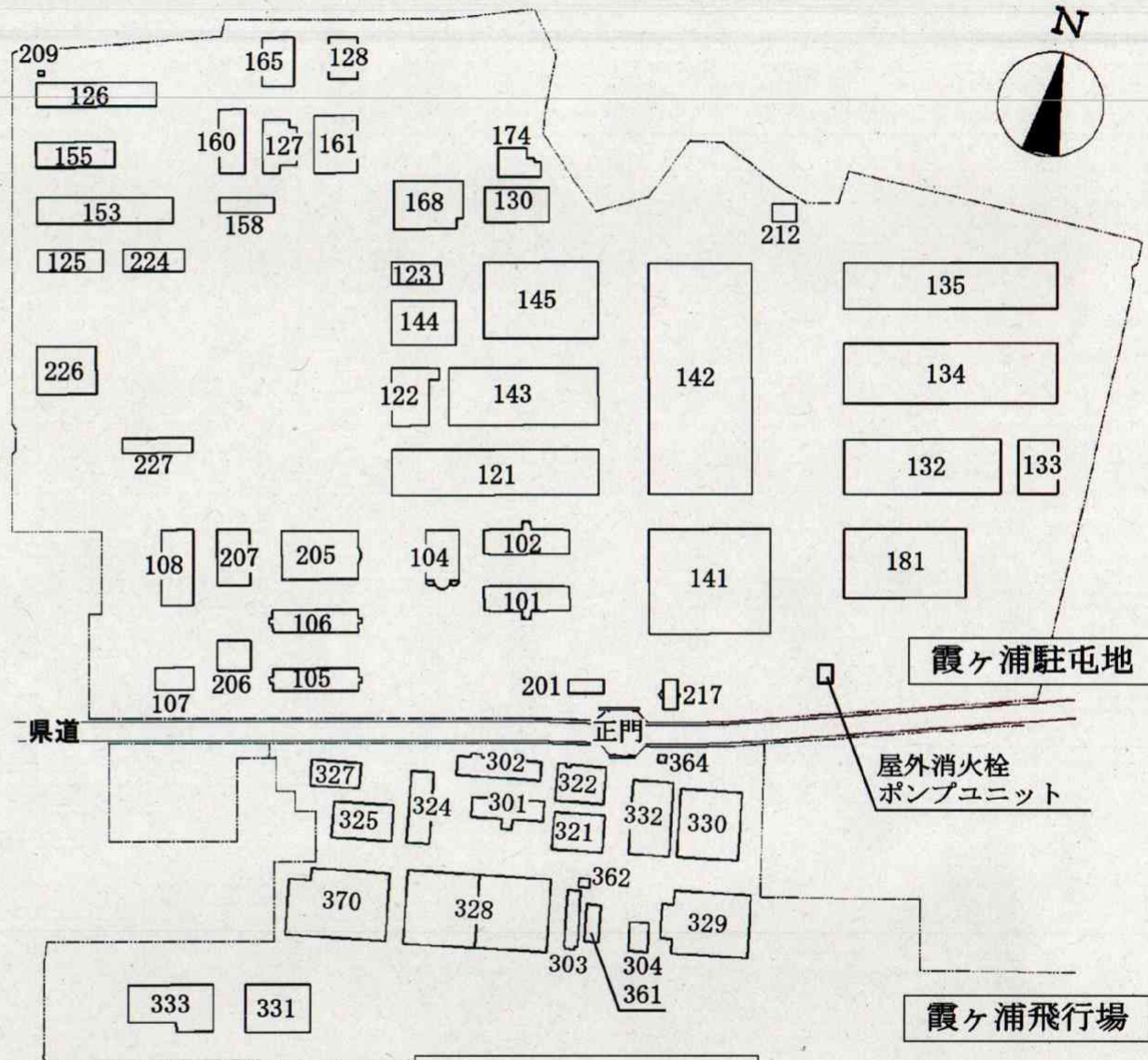
連結送水管設備

No.	建物番号	設置年月	放水口	送水口	表示灯	備考
1	101	H5. 1	5	1	4	
2	102	H5. 1	3	1	3	
3	105	H5. 12	7	1	6	
4	106	H8. 3	7	1	6	
合 計			22	4	19	

件 名	消防用設備点検	図面番号	10 / 11
図 面	連結散水設備、連結送水管設備	縮 尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和8年6月	



案内図 S=1/x



配置図 S=1/x

件名	消防用設備点検	図面番号	11/11
図面	案内図、配置図	縮尺	—
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊管理科		令和8年6月	

受電設備点検

役 名 称	受電設備点検	図面 番号	1 / 12
図 面 名 称	表 紙	仕様書番号 管-54	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		令和8年6月	

仕 様 書

1 件 名
受電設備点検

2 場 所
茨城県土浦市右舂2410 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地

3 適用範囲
本仕様書は、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地における受電設備点検について適用する。

4 概 要
特別高圧電気設備及び高圧電気設備機器の点検

5 一般事項

- (1) 本役務は、本仕様書の他、建築保全業務共通仕様書（最新版）によるものとする。
- (2) 本役務の現場代理人は、第3種電気主任技術者以上とし、資格証明書（写し）を提出すること。
- (3) 本仕様書に定められた内容に明示なき場合、もしくは疑いを生じた場合は、監督官と協議のうえ内容を確認する。
- (4) 現場の安全衛生に関する管理は現場代理人が責任者となり、関連法令を遵守し行う。
また、火災等の事故防止に努めるとともに、役務現場及び許可された場所以外への無断立入りを厳禁する。
- (5) 着工に先立ち、監督官と協議のうえ計画工程表を作成し、監督官に提出する。
- (6) 役務写真はカラーサービス版程度とし、実施中及びその他監督官が指示するものを工事用アルバム（A4縦型）に整理のうえ提出する。
- (7) 施設に損傷を与えた場合は、延滞なく監督官に報告するとともに、監督官の指示に基づき、請負者の責任において現状に復旧する。
- (8) 請負者は、監督官の指定した書類を提出すること。
- (9) 本役務により不具合箇所を発見した場合は、改善に対する資料及び見積書を監督官に提出する。
- (10) 本役務に必要な工具、試験器具類及び消耗品類は請負者負担とする。

6 特記事項

- (1) 本役務の点検内容については、図面番号5/12～11/12「機器点検項目表（1）～（7）」により実施し報告書を提出すること。
- (2) 駐屯地全停電日時は、令和8年11月28日（土）、11月29日（日）の各日8時から17時とする。
- (3) 停電が必要な作業については、別役務において設置した発電機により、警備システム等の電力が確保されている令和8年11月28日（土）、11月29日（日）の各日8時から17時にのみ実施すること。
- (4) 点検用電源については、請負者により確保するものとする。
- (5) 点検中に不測の事態が発生した場合、30分以内に復電作業を実施できる体制表を作成し、監督官の許可を得ること。
- (6) 点検結果に基づき建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う、消耗部品の取替え、注油、塗装その他これらに類する軽微な作業は行うこと。
- (7) 受電保護リレー（87T1・T2）については整定値精査を実施すること。

設 備 機 器 一 覧 表 (1)

1 特別高圧電気設備

名 称		数 量	備 考
ガ ス 絶 縁 変 電 所 ・ GIS	受電ユニット	2 SET	三相一括形
	ガス遮断器 (72KV, 600A, 25KV) パネ	2 台	
	断路器 (72KV, 600A) 電動	4 台	
	断路器 (72KV, 600A) 手動	2 台	
	接地開閉器 (72KV, 25KA) 手動	6 台	
	計器用変流器	6 台	
	避雷器 (84KV, 10KA)	2 台	酸化亜鉛形
	電圧検知機 (アンテナ式、R相)	2 台	
	集中端子箱	2 台	
	母線ユニット	2 SET	三相一括形
	MOFバイパスユニット	1 SET	三相一括形
	断路器 (72KV, 600A) 電動	1 台	
	集中端子箱	1 台	
	MOFユニット	1 SET	三相一括形
	断路器 (72KV, 600A) 電動	2 台	
	接地開閉器 (72KV, 25KA) 手動	3 台	
	集中端子箱	1 台	
	送電ユニット	2 SET	三相一括形
	ガス遮断器 (72KV, 600A, 25KV) パネ	2 台	
	断路器 (72KV, 600A) 電動	2 台	
	接地開閉器 (72KV, 25KA) 手動	4 台	
	計器用変流器	6 台	
	集中端子箱	2 台	
	主変圧器一次ユニット	2 SET	三相一括形
	断路器 (72KV, 600A) 電動	5 台	
	接地開閉器 (72KV, 25KA) 手動	4 台	
	電圧検知機 (アンテナ式、R相)	2 台	
	集中端子箱	2 台	
	ガス絶縁変圧器 (66KV/4,000KVA)	2 台	
	衝撃圧力継電器	2 台	
	温度計	2 台	
	温度補償圧力スイッチ	2 台	
	連成計	2 台	
	特高監視盤	1 面	
	過電流継電器 (OCR) ・ 地路過電流継電器 (OCGR)	4 個	
	電流計 (A)	12 個	

設備機器一覧表(2)

2 高圧電気設備

名 称	数量	配電盤別数量内訳			備 考
		高圧 配電盤	コンデ ンサ盤	電力 監視盤	
閉鎖型配電盤	40 面	28	6	6	
真空遮断器 (VCB)	45 台	45			
真空電磁接触器 (VCS) 6.6KV 200A	6 台		6		
高圧負荷開閉器 (LBS) 7.2KV 200A	3 台	3			
進相コンデンサ (SC) 100KVA×4	6 台		6		
直列リアクトル (SR) 24KVA	6 台		6		
避雷器 (LA) 8.4KV 5KA	6 個	6			
変圧器 (Tr) 3φ100KVA	1 台	1			
不足電圧継電器 (UVR)	5 個			5	
過電流継電器 (OCR)	46 個			46	
過電圧継電器 (OVR)	3 個			3	
地路過電流継電器 (OCGR)	21 個			21	
地路過電圧継電器 (DOVR)	3 個			3	
比率差動継電器 (RDF)	2 個			2	
地路過電流継電器 (NV-ZS)	1 個			1	
計器用変流器 (CT)	66 個	54	12		
零相変流器 (ZCT)	40 個	40			
計器用変圧器 (PT)	13 個	13			
電圧計 (V)	5 個			5	接地抵抗試験
電力計 (W)	2 個			2	〃
力率計 (PF)	2 個			2	〃
周波数計 (F)	2 個			2	〃
零相電圧計 (V0)	3 個			3	〃
コンデンサ自動制御装置	1 個			1	〃
電流計 (A)	23 個			23	
積算電力計 (WH)	21 個			21	

3 その他電気設備

名 称	数 量	備 考
バスダクト	4 SET	600A
接地端子箱	2 面	接地抵抗試験

役務名

受電設備点検

4 / 1 2

機 器 点 検 項 目 表 (1)

1 特別高圧電気設備

(1) ガス絶縁変電所・GIS点検項目表

点 検 箇 所		点 検 項 目	備 考
G I S 本 体	本体全般	錆の発生有無	
		異常音の発生有無	
		外部取付ボルトの締付け状態	
		接地端子類の締付け状態	
		主回路絶縁抵抗測定	
	タンク内部	遮断部点検	
		接着剤取換え	内部点検時実施
	C T	使用していないC Tの二次端子短絡	集中端子箱で短絡
		絶縁抵抗測定	
ガ ス 系 統	測定等	ガス圧力、気温の測定	
		メクラプタの点検	
		ガス漏れの点検	
	温度補償圧力スイッチ	作動圧力の点検	
制御回路		配線端子の締付け状態	
		絶縁抵抗測定	
		スペースヒータの断線の有無	
		箱内の結露、発錆、漏水の有無	
		扉パッキンの点検	
操 作 機 構	遮断器操作機構	ガス遮断器点検項目による	
	断路器、接地開閉器用 操作装置	可動部にリチウムグリスを塗る	
		操作音、振動などの異常の有無	
		操作用各リレー、コイルの異常の有無	
操 作 機 械	断路器、接地開閉器用 操作装置	作動回数表示器指示	
	操作機械一般	開閉表示指示	
		各部ボルトの締付け状態	
		制御回路配線端子の締付け状態	
		制御回路絶縁抵抗測定	
	操作装置連結部	レバー、ストップボルト間ギャップの測定	
動作		開閉操作状態	

(2) ガス遮断器点検項目表

点 検 箇 所		点 検 項 目	備 考
本体全般		ボルトの締付け状態	
		基礎ボルトの締付け状態	
		接地端子類の締付け状態	
		異常音の有無	
		錆の発生の有無	
操作機構		連結部の止め輪、各部ボルトのゆるみの有無	
		機構部、連結部のグリスを塗る	
		カムとローラとのギャップ測定	
ガス系統		ガス止め弁の開閉点検	
		メクラプタの点検	

機 器 点 検 項 目 表 (2)

(3) ガス遮断器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
操作機構箱 (ガス系統)	ガス圧力、気温の測定	
	ガス温度補償圧力スイッチの作動圧力点検	
操作機構箱 (制御系統)	動作回数計の作動点検	
	配線端子の締付け状態	
	制御回路絶縁抵抗測定	
	補助回転スイッチの接点の点検	
	スペースヒータの断線の有無	
	引きはずし、投入コイルの点検	
	電磁石プランジャーのギャップ測定	
	結露、発錆、浸水の有無	
	防振ゴムの劣化の有無	
	扉パッキンの点検	
	各部ボルトの締付け状態	
動作	開閉操作の点検	

(4) 避雷器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
本体全般	錆の発生の有無	
	異常音、振動の有無	
測定	漏れ電流の測定	
	絶縁抵抗測定	

(5) 計器用変圧器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
本体全般	錆の発生の有無	
	各部取付けボルトの締付け	
	接地端子の締付け	
端子箱	一次回路絶縁抵抗測定	
	二次、制御回路絶縁抵抗測定	
	低圧配線端子の締付け	
	扉パッキンの点検	
	箱内の発錆、漏水の有無	

(6) 圧検知器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
増幅部制御回路	点検回路による異常の確認	
検出部と同軸ケーブル		
制御電源部		

(7) ガス絶縁変圧器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
変圧器本体外部	塗装の剥離、発錆の有無	
	異常音、振動の有無	
	各部締付けの異常の有無	
	付属品の破損の有無	
変圧器本体内部	巻線絶縁抵抗測定	
S F 6 ガス	ガス分析	
測定等	ガス圧力測定	
	ガス温度測定	
	ガス漏れの有無	

機 器 点 検 項 目 表 (3)

(8) ガス絶縁変圧器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
無電圧タップ切替器	動作点検	
	操作軸貫通部のガス漏れ	
温度補償圧力スイッチ	作動圧力点検	
連成計	絶縁抵抗測定	
	警報接点動作	
	外観点検	
ダイヤル温度計	絶縁抵抗測定	
	外観点検	
遠隔温度指示装置	絶縁抵抗測定	
衝撃圧力継電器	絶縁抵抗測定	
	復帰時間特性	
接地線	取付状態の点検	
放熱器	発錆の有無	
各種バルブ	ガス封入弁点検	
	放熱器弁点検	
	止め弁点検	
放圧装置	外観点検	
ブッシング	破損、汚損、過熱変色の有無	

(9) 特高監視盤点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
盤及び回路部	閉鎖型配電盤点検項目による	
過電流継電器及び地絡過電流継電器	保護継電器点検項目による	

2 高圧電気設備

(1) 高圧配電盤点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
盤及び回路部	閉鎖型配電盤点検項目による	
真空遮断器	真空遮断器点検項目による	
計器用変流器	ゆるみ、亀裂等異常の有無	
計器用変圧器	接地線接続部の異常の有無	
避雷器	絶縁抵抗・接地抵抗測定	
変圧器	各部の損傷、腐食、過熱の有無	
	ゆるみ、接続部の異常の有無	
	絶縁抵抗・接地抵抗測定	

(2) コンデンサ盤点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
盤及び回路部	閉鎖型配電盤点検項目による	
真空電磁接触器	真空電磁接触器点検項目による	
進相コンデンサ 直列リアクトル	各部の損傷等異常の有無	
	異常音の有無	
	絶縁抵抗測定	

機 器 点 検 項 目 表 (4)

(3) 電力監視盤点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
盤及び回路部	閉鎖型配電盤点検項目による	
不足電圧継電器 過電流継電器 過電圧継電器 地絡過電流継電器 地絡過電圧継電器 比率差動継電器	保護継電器点検項目による	

(4) バスダクト点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
外観全般	汚損部の手入れ	
	発錆、塗装の剥離の有無	
	つり金具、支柱の状態点検	
	締付け部の点検	
	耐震継手の状態点検	
ダクト内部	結露、雨水の侵入の有無	
	汚損部の手入れ	
	発錆、塗装の剥離の有無	
	パッキン部のひび割れの有無	
母線及び絶縁部	結露、放電痕の有無	
	汚損部の手入れ	
	過熱、変色の有無	
	締付け部の増締め	
絶縁抵抗測定	各相－大地間	
	相間	
	絶縁支持板の表面	

(5) 接地端子箱点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
外観全般	汚損、発錆等の有無	
接地線	接地抵抗測定	

(6) 閉鎖型配電盤点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
盤構成部	汚損状態	
	損傷の有無	
	発錆、塗装の剥離	
	締付け部のゆるみ	
主回路部 (母線及び絶縁部含む)	汚損状態	
	締付け部のゆるみ	
	損傷、変色	
	絶縁部の放電痕等	
制御回路部(取付部含む)	汚損状態	
	損傷、変色	
	締付け部のゆるみ	
	電線の端末処理	

機 器 点 検 項 目 表 (5)

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
機構部及び接触部	汚損状態	
	損傷、変色	
	締付け部のゆるみ	
	発錆	
	注油	
	一次・二次接触部	
	インターロック機構	
	外付SW機構	
	DS操作機構	
	PTユニット機構	
測定	絶縁抵抗測定(主回路ー大地)	
	〃 (制御回路ー大地)	
	接地抵抗測定	

(7) 真空遮断器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
操作装置 (操作機構含む)	パネの発錆、変形、損傷の有無	
	各締付け部の異常の有無	
	各摺動部の摩耗等異常の有無	
	異物混入、発錆、塵埃の有無	
	ダンパーからの油漏れの有無	
	スナップリング、割りピンの脱落、変形の有無	
低圧制御回路	配線	断線の有無、締付け状態
	電圧引外し装置	可動部の過度の摩耗の有無
		コイルの変色等異常の有無
	コンデンサ引外し装置	ネオンランプの点灯確認
端子部	補助開閉器	リンクのがた、接触状態点検
		締付け状態の確認
真空スイッチ管	真空度点検	真空度が正常か否かを確認
	真空容器	表面の湿度、塵埃の有無
付属装置	開閉表示器動作回数計	動作確認
測定等		絶縁抵抗測定
		絶縁耐圧試験
開閉特性試験		投入操作試験
		引外し操作試験
		引外し自由操作試験
		最低動作電圧試験
モールドフレーム及び絶縁部		表面の水滴、湿気、塵埃の付着変色、破損の有無

機 器 点 検 項 目 表 (6)

(8) 真空電磁接触器点検項目表

点 検 箇 所		点 検 項 目	備 考
操作装置 (操作機構含む)		バネの発錆、変形、損傷の有無	
		各締付け部の異常の有無	
		各摺動部の摩耗等異常の有無	
		異物混入、発錆、塵あいの有無	
		スナップリング、割りピンの脱落、変形の有無	
低圧制 御回路	配線	断線の有無、締付け状態	
	電圧引外し装置	可動部の過度の摩耗の有無	
		コイルの変色等異常の有無	
	コンデンサ引外し装置	ネオンランプの点灯確認	
	補助開閉器	リンクのがた、接触状態点検	
端子部		締付け状態の確認	
		導電部の変色の有無	
		接触子	
真空スイッ チ管	接点	接点摩耗	
	真空度点検	真空度が正常か否かを確認	
	真空容器	表面の湿気、塵埃の有無	
付属装置	入切表示器動作回数計	動作確認	
測定等		絶縁抵抗測定	
		絶縁耐圧試験	
開閉特性試験		投入操作試験	
		引外し操作試験	
		最低動作電圧試験	
モールドフレーム及び絶縁部		表面の水滴、湿気、塵埃の付着変色、破損の有無	
ヒューズリンク及び ヒューズホルダーの各部		汚損、破損、亀裂、その他異常の有無	
取付け状況		取付け位置、方向の確認	
接触部		過熱による変色、アークの痕跡、機械的損傷、変形等の有無	

機 器 点 検 項 目 表 (7)

(9) 保護継電器点検項目表

点 検 箇 所	点 検 項 目	備 考
外観	各部の汚損、損傷、腐食、発錆変形等の異常の有無	
過電流継電器	動作試験	
	作動時間特性試験	300%, 500%, 1000%
過電圧継電器	動作試験	
	作動時間特性試験	120%, 130%, 500%
不足電圧継電器	動作試験	
	作動時間特性試験	70%, 50%, 0%
地絡方向継電器	動作試験	
	作動時間特性試験	300%, 500%, 1000%
地絡過電流継電器	動作値試験	
	復帰値試験	
地絡過電圧継電器	動作値試験	
	復帰値試験	
比率差動継電器	動作値試験	
	復帰値試験	250%, 500%
漏電継電器	動作値試験	
	復帰値試験	

(10) シーケンス試験要領表

点 検 箇 所	試 験 要 領
インターロック試験	開路及び開路するための条件にて正常に動作するかを確認
保護連動試験	連動して機器を作動し、現場監視盤および中央監視設備で故障表示・警報等の正常作動の確認



案内図 S=1/X



配置図 S=1/X

役務名称	受電設備点検	図面番号	12/12
図面名称	案内図・配置図	縮尺	
		図示	
陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地業務隊		令和8年6月	

調達要求番号： 6 P X 0 1 A D 0 1 0 3

陸上自衛隊仕様書			
物品番号		仕様書番号	
非常用電源装置点検		管-7 3	
		作 成	令和8年7月
		変 更	
		作成部隊等名	霞ヶ浦駐屯地業務隊

1 適用範囲

本仕様書は、非常用電源装置点検について適用する。

2 実施場所

茨城県土浦市右廻2410

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地

3 その他

役務内容は、図面による。

図面番号	図 面 名 称
1 / 8	仕 様 書
2 / 8	機器点検項目表 (1)
3 / 8	機器点検項目表 (2)
4 / 8	機器点検項目表 (3)
5 / 8	機器点検項目表 (4)
6 / 8	機器点検項目表 (5)
7 / 8	機器点検項目表 (6)
8 / 8	案内図、配置図

仕 様 書

1 件 名

非常用電源装置点検

2 場 所

茨城県土浦市右舂2410 陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地

3 適用範囲

本仕様書は、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地における非常用電源装置点検について適用する。

4 概 要

非常用発電機及びガスタービン機関等の点検

5 一般事項

- (1) 本役務は、本仕様書の他、建築保全業務共通仕様書(最新版)に基づき実施するものとする。
- (2) 本役務の作業者は、本仕様の実施に関し十分な知識、経験及び技術を有し、かつ役務を完全に遂行できるものとする。
- (3) 本仕様書に定められた内容に明示なき場合もしくは疑いを生じた場合は、監督官と協議のうえ内容を確認する。
- (4) 現場の安全衛生に関する管理は現場代理人が責任者となり、関連法令を遵守し行う。また、火災等の事故防止に努めるとともに、役務現場及び許可された場所以外への無断立入りを厳禁とする。
- (5) 監督官と協議のうえ工程表を作成し、提出すること。
- (6) 役務写真はカラーサービス版程度とし、実施中及びその他監督官が指示するものを工事用アルバム(A4縦型)に整理のうえ1部提出する。
- (7) 施設に損傷を与えた場合は、延滞なく監督官に報告するとともに、監督官の指示に基づき、請負業者の責任において現状に復旧する。
- (8) 不具合事項を発見した場合は、写真及び図示したものを監督官に報告し、その原因を追及のうえ改善に対する技術資料を添えた報告書を1部提出するものとする。

6 特記事項

(1) 機器の仕様等及び数量は、下表のとおり。

機器名	仕様等	数量	備 考
非常用 発電機	型 式	TAKL-SCK	2基
	製造番号	T860176	
	定格出力	750KVA	
	定格電圧	6600V	
	周 波 数	50Kz	
	製 造 者	(株)東芝	
ガスター ビン機関	型 式	AT900S	2基
	出力/回転数	900PS/1,500min-1	
	製 造 者	ヤンマーディーゼル(株)	
配電盤類	エンジン始動用直流電源盤	2面	
	制御用直流電源盤	2面	
	自動始動盤	2面	
	発電機盤	2面	
	自動同期盤	1面	
	補 機 盤	1面	

- (2) 各機器の点検項目については、図面番号 2/7～6/7 「機器点検項目表(1)～(5)」による。
- (3) 試運転については、製造業者の立会のもと実施するものとする。

機器点検項目表（１）

点検項目	点 検 内 容	備 考	点検項目	点 検 内 容	備 考
1 発電機室	①小動物が侵入するおそれのある開口部の有無を点検する。 ②取扱者以外の者の立入禁止措置が行われていることを確認する。 ③保守用 I ビーム、チェーンブロック等に錆及び取付けボルトの緩みの有無を点検し、作動部の動きが円滑であることを確認する ④廃油処理が行われていることを確認する。 ⑤照度を測定し、点検及び操作上必要な照度が確保されていることを確認する。 ⑥各設備、各機器、建築物等との保有距離が保たれていることを確認する。 ⑦点検上及び使用上障害となる不要物が置かれてないことを確認する。 ⑧電気配管、配線、給水管、排水管等の防火区画貫通部のき裂、脱落、損傷等の有無を点検する。		3 原動機 ガスタービン	①原動機の据付け状況を確認する。 ②各部の汚損及び変形の有無を点検する。 ③機側の各配管等に燃料、潤滑油、始動空気等の漏れの有無を点検及び潤滑油量を確認し、必要があれば補充する。 ④燃料フィルター及び潤滑油フィルターの分解清掃を行い、フィルター本体及びエレメントに異常がないことを確認する。ただし、カートリッジ式は、カートリッジを交換する。	
2 本体基礎部等	①共通台板の取付け状況及び基礎ボルトの変形、損傷等の有無を点検する。 ②防振装置(防振ゴム、ばね及びストッパ)のひび割れ、変形、損傷及びたわみの異常の有無を点検する。 ③附属機器の取付け状態及び取付けボルトの変形、損傷等の有無を点検する。 ④原動機と発電機との軸継手部の損傷、緩み等の有無を点検する。また、たわみ軸継手を使用されているものは、緩衝用ゴムの損傷等の有無を点検する。		4 発電機	①発電機本体、出力端子保護カバー等の変形、損傷、脱落、腐食等の有無を点検する。 ②発電機の巻線部及び導電部周辺に付着したほこり、油脂等による汚損の有無を点検し乾燥状態にあることを確認する。 ③スペースヒータ及び回路の断線、過熱等の有無を点検する。 ④接地線の断線、き裂及び接続部の緩みの有無を点検する。 ⑤ブラシ付発電機は、ブラシを引出して、表面、側面の摩耗状態及びブラシ抑え圧力が適正值であることを点検する。また、ブラシ、ブラシ保持器スリップリング等の清掃を行う。 ⑥軸受等の潤滑状況の良否、変質及び汚損の有無を点検する。 ⑦潤滑油の汚損状況及び水分の混入状況を、オイル試験紙等を用いて点検する。	

機器点検項目表（２）

点検項目	点 検 内 容	備 考	点検項目	点 検 内 容	備 考
5 発電機制御盤類 a 盤本体・内部配線等	①盤本体、扉、ちょう番、ガラス窓等の損傷錆、変形、腐食等の有無を点検する。 ②主回路及び制御用、操作用、表示用等の配線に腐食、損傷、過熱、ほこりの付着、断線等の有無を点検する。 ③主回路端子部、補機回路端子部、検出部端子等の接続部分及びクランプ類に腐食、損傷及び過熱による変色の有無を点検する。 ④碍子類、その他の支持物の腐食、損傷、変形等の有無を点検する。 ⑤接地線の断線、腐食及び接続部の損傷の有無を点検する。 ⑥スペースヒータ及び回路の断線、過熱等の有無を点検する。		c 制御回路部	①制御電源スイッチ、自動・手動切替スイッチ、自動始動制御機器等の操作及び取付け状態の良否並びに汚損、破損、腐食、過熱、異常音、異常振動等の有無を点検する。 ②補機盤は、次による。 ・補機用電源スイッチ（始動電源機、室内換気装置、燃料移送ポンプ等）の操作及び取付け状態の良否並びに汚損、破損、腐食、加熱、異常音、異常振動等の有無を点検する。 ・補機運転用検出スイッチを短絡又は開放して、自動運転ができることを確認する。	・検出用スイッチを作動させて運転してもよい。
b 盤内機器	①自動電圧調整装置（ＡＶＲ）の変形、損傷、腐食、ほこりの付着、過熱及び接触不良の有無を点検する。 ②交流遮断器は、3.3.3「交流遮断器」の当該事項による。 ③手動断路器は、3.3.4「断路器」の当該事項による。 ④計器用変成器は、3.3.5「計器用変圧器・変流器」の当該事項による。 ⑤負荷開閉器は、3.3.7「高圧負荷開閉器」の当該事項による。 ⑥指示計器及び保護継電器は、3.3.11「指示計器・保護継電器」の当該事項による。 ⑦配線用遮断器等の開閉器類は、3.3.12「低圧開閉器類」の当該事項による。		6 補機付属装置類 a 蓄電池設備	①蓄電池は、3.5.3「蓄電池」による。 ②連続３回以上の始動回数試験を行い、消防法で定める駆動ができる容量であることを確認する。	
			b 燃料槽	①燃料タンクの貯油量を油面計により点検し、併わせて油面計の動作の良否を点検する。また、滑車式油面計は、滑車の動作の円滑性及びワイヤ等の損傷の有無を点検する。 ②燃料タンク、配管及び各種バルブの状態並びに取付けボルトの異常の有無を点検する ③燃料タンク用通気金物の引火防止金網の脱落、腐食等の有無を点検する。	

機器点検項目表（３）

点検項目	点 検 内 容	備 考	点検項目	点 検 内 容	備 考
b 燃料槽	④燃料タンクの燃料油の水分含有量について点検する。		□ 排気管	③排気管貫通部の断熱材保護部のめがね石等に変形損傷、脱落及びき裂の有無を点検する。また、排気伸縮管を配管途中に取付けている場合は、貫通部の排気管固定の取付け状態を確認する。	
c ガス系統付属機器	①損傷、油漏れ、水漏れ等の有無を点検する				
イ ガス昇圧機	②油量を確認する。 ③温度等を確認し、軸受部の振動の有無を点検する。 ④軸封部等の漏れの有無を点検する。				
□ 空燃比制御装置	①制御機器の作動を確認する。 ②外観点検を行い、変形、損傷、漏れ、腐食、緩み等の有無を点検する。		ハ 排気ガス処理装置	①装置の変形、損傷、漏れ、腐食、緩み等の有無を点検する。 ②排気ガスを測定し、性能を確認する。 ③制御機器の作動の良否を確認する。	
ハ 点火装置	①点火プラグ・コードを点検する。 ②分配器（ディストリビュータ）を開放し、内部の点検をする。			①配管等の変形、損傷等の有無を点検し、支持金具に緩みがないことを確認する。 ②配管の取付け部及び接続部からの漏れの有無を点検し、バルブの開閉状態が正常の位置にあることを確認する。 ③原動機本体、付属機器及びタンク類との接続部の各種可とう管継手に変形、損傷、漏れ等の有無を点検する。また、ゴム状の可とう管継手を使用している場合は、ひび割れ等のないことを確認する。 ④温調弁及び感温部の動作温度が設定値どおりであることを確認する。なお、点検で取外したパッキンは交換する。 ⑤燃料系統の電磁弁の動作状況を点検する。	
d 換気装置	①給排気ファン等の据付け状態、回転部及びベルトに緩み、損傷、き裂、異常音、異常振動の有無を点検する。 ②軸受部の潤滑油に汚れ、変質、異物の混入等の有無を点検する。				
e 排気装置	①支持金具、緩衝装置等の損傷の有無を点検する。				
イ 消音器	②ドレンバルブ又はドレンコックを点検し、水分等を除去する。				
□ 排気管	①排気管と原動機、可燃物、その他の離隔距離を確認する。 ②排気伸縮管、排気管及び断熱被覆に変形、脱落、損傷並びにき裂の有無を点検する。				

機器点検項目表（４）

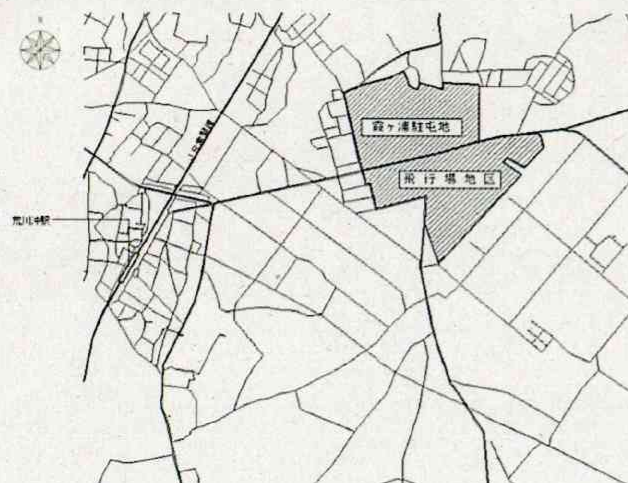
点検項目	点 検 内 容	備 考	点検項目	点 検 内 容	備 考
7 接地抵抗	①接地線の断線、腐食等の有無を点検する。		a 試運転	③運転中、次の計器類の指示値が規定値内にあることを確認する。	
8 絶縁測定	②接地線接続部の取付け状態（ボルト、ナットの緩み、損傷等）を点検する。 ③各種接地極の接地抵抗を測定し、その良否を確認する。 次の機器、回路別に絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ・発電機関係 ・機器及び機側配線 ・電動機類			・電圧 ・周波数 ・回転速度 ・各部温度 ・各部圧力	
9 耐震措置	①ストッパ等の偏荷重、溶接部のはがれ等の有無を点検する。 ②基礎ボルト等の変形、損傷及びナットの緩みの有無を点検し、耐震措置が適正であることを確認する。			④ブラシ付発電機の場合は、運転中、発電機ブラシからのスパークの発生状況に異常がないことを確認する。	
10 運転機能 a 試運転	①始動タイムスケジュール及びシーケンス（自動動作状況）を確認し、自家発電装置が自動運転待機状態にあることを確認する。 ②始動前に自家発電装置の周囲温度、原動機の冷却水及び潤滑油温度を測定する。ただし、ガスタービンは、冷却水の温度測定を除く。また、オイルリング付発電機の場合は、発電機の潤滑油給油口から、内部のオイルリングの作動状況を確認する。			⑤運転中に異常音（不規則音）、異臭、異常振動、異常な発熱、配管等からの漏れの有無を点検する。	
				⑥保護装置の検出部を短絡又は動作させ、遮断器の遮断、原動機停止の機能、表示及び警報が正常であることを確認する。	
				⑦自動始動盤の停止スイッチ（復電と同じ状態）による停止試験を行う。ただし、自動停止ができないものは、機側手動停止装置により行う。	
				⑧ガスタービンは、停止回転低下中の回転変化が滑らかで、タービン内部にこすれ音等の異常音の有無を点検する。	
				⑨試運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等の位置が自動始動運転の待機状態にあることを確認する。	

機器点検項目表（５）

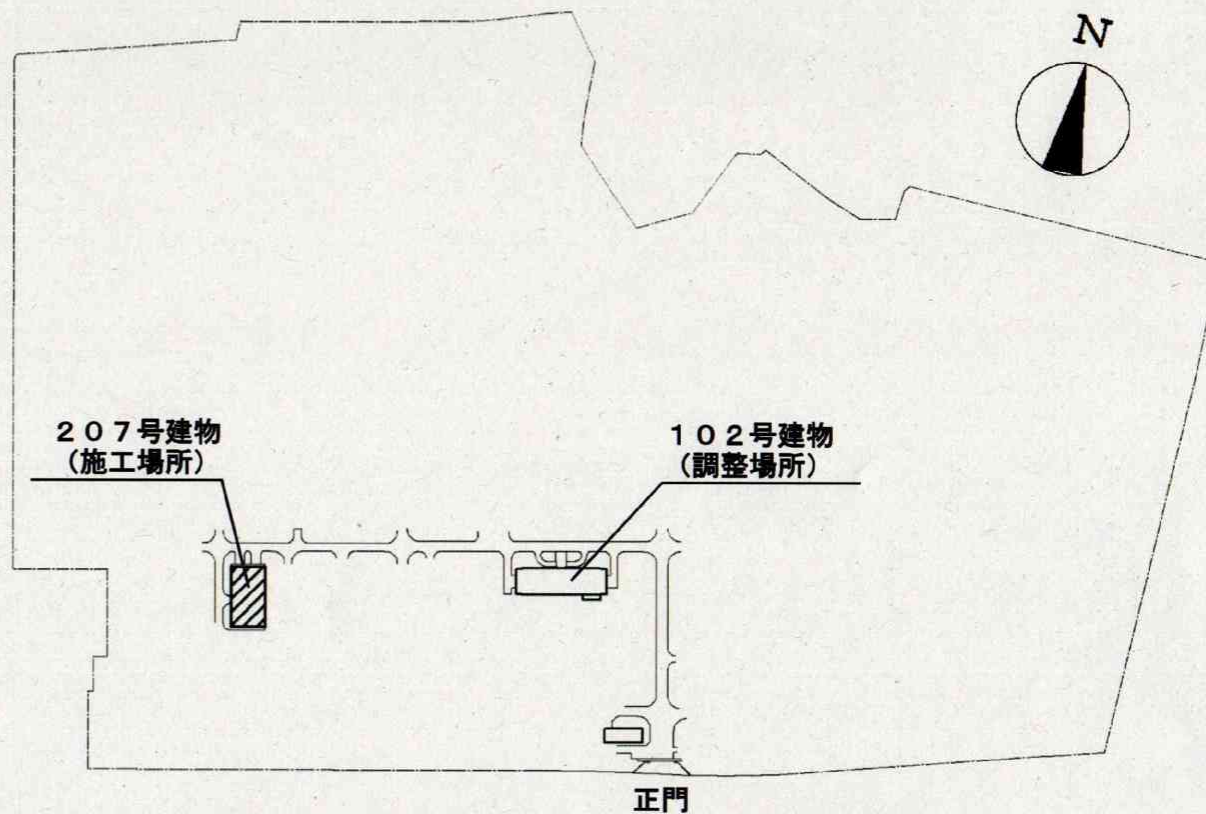
点検項目	点 検 内 容	備 考	点検項目	点 検 内 容	備 考
b 調速機	①瞬時全負荷遮断性能は、発電機定格出力の100%の負荷において、電圧、周波数及び回転速度をそれぞれ定格値に合わせ、発電機用の遮断器を遮断して電圧周波数及び回転速度を測定し、安定性能を確認する。	・100%負荷が確保できない場合は、状況に応じて部分負荷としてもよい。	d 無負荷運転	・各部圧力 ④ ブラシ付発電機の場合は、運転中、発電機ブラシからのスパークの発生状況に異常がないことの確認。 ⑤ 換気装置及び換気口が自家発電装置と連動して作動する場合は、換気装置等が正常に作動することの確認。 ⑥ 運転中に異常音（不規則音）、異臭、異常振動、異常な発熱、配管等からの漏れの有無の点検 ⑦ 自動始動盤の停止スイッチ（復電と同じ状態）による停止試験の実施。ただし、自動停止ができないものは、機側手動停止装置により実施。 ⑧ 試運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等の位置が自動始動運転の待機状態にあることの確認。 ⑨ 試運転終了後、スイッチ、ハンドル、バルブ等の位置が自動始動運転の待機状態にあることの確認。	
c 保護装置	保護装置の検出部の動作を実動作又は模擬動作で試験し、動作値が設定どおりであることを確認する。	・実動作が不適当な項目については、模擬動作で行う。			
d 無負荷運転	① 始動タイムスケジュール及びシーケンス（自動動作状況）を確認し、自家発電装置が自動運転待機状態にあることの確認。 ② 始動前に自家発電装置の周囲温度、原動機の冷却水及び潤滑油温度の測定。ただし、ガスタービンは、冷却水の温度測定を除く。また、オイルリング付発電機の場合は、発電機の潤滑油給油口から、内部のオイルリングの作動状況の確認。 ③ 運転中、次の計器類の指示値が規定値内にあることの確認。 ・電圧（定格電圧の±2.5%以内） ・周波数 ・回転速度（定格回転速度の0～+5%以内） ・各部温度		11 予防的な保全策 （ディーゼル機関・ガス機関に限る。）	① 次の始動補助装置等の確認 ・予熱栓の断線、変形、絶縁不良等 ・点火栓の電極の消耗、プラグギャップ、カーボンの付着等 ・冷却水ヒーターの断線、過熱等 ・潤滑油プライミングポンプの作動 ② 必要により次の部品の交換 ・潤滑油 ・冷却水 ・燃料フィルター ・潤滑油フィルター ・冷却ファン駆動用Vベルト ・ゴムホース	

機器点検項目表（6）

11 予防的な保全策 (ディーゼル機関・ガス機関に限る。)	・燃料、冷却水、潤滑油、排気系統や外箱等に用いるシール材 ・始動用の蓄電池				
12 予備品	①製造者標準の予備品がそろっていることを確認する。 ②設置時の完成図書、特に回路図が保管されていることを確認する。 ③保守工具及び取扱説明書が備えてあることを確認する。				



案内図 S=1/x



配置図 S=1/x